

2-2- 戦争と相次ぐ台風被害により、国土は荒廃

戦後毎年のように襲った洪水は戦争で疲弊した国土に再び大きなダメージを与えました。また深刻な電力不足は経済復興の大きな足かせとなりました。



1947年9月16日午前零時20分、北埼玉郡東村(現・大利根町)新川通地先で、濁流に洗われていた利根川右岸堤防が決壊。堤防を崩した濁流は、東京東部低地(葛飾区、足立区、江戸川各区)までも水没させました。

- カスリーン台風による関東地方の被害状況
(利根川水系以外も含む : 利根川百年史)

都県名	家屋浸水			家屋流出 ・倒壊(戸)	家屋半壊 (戸)	死者(人)	負傷者(人)	日頃の浸水 寸数
	床上(戸)	床下(戸)	合計(戸)					
群馬県	31,091	39,938	71,029	19,936	1,948	592	315	62,300
埼玉県	44,610	34,334	78,944	1,118	2,116	86	1,394	66,524
栃木県	—	—	45,642	2,417	3,500	352	550	24,402
茨城県	10,482	7,716	18,198	209	75	48	23	19,204
千葉県	263	654	917	—	6	4	—	2,010
東京都	72,945	15,485	88,430	56	—	8	138	2,349
合計	—	—	303,160	23,736	7,645	1,100	2,420	176,789



東京の約50km北で起きた洪水の生存者が建てた一時的住居。